

園芸市場情報

平成26年12月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

12月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

やっちゃんば閑話 「『あともう一步』の踏む込み」 P11

首都圏掲示板 P12

<今月の2枚> ＊ 千葉県産秋冬にんじん合同試食宣伝会を開催 ＊

11月27日、東京都中央卸売市場大田市場で、年末の需要期に向けて本格出荷を迎える県産にんじんをPRするため、JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会の主催で、秋冬にんじん主力3産地(JA千葉みらい、JA富里市、JA山武郡市)の合同による試食宣伝会が開催されました。

関係者は、オール千葉での3JA統一での活動を紹介するため、揃いのスタッフジャンパーを着用して、産地共通の小袋入りにんじんを配布するとともに、白だしスープときんぴら、にんじんジュースの3種の試食品を来場者に提供し、県産にんじんの品質の良さをアピールしました。



来場者で賑わう試食宣伝会場

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 11月(中旬まで)の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 12月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「冬春トマト」
 06 だいこん、にんじん
 07 キャベツ類、ほうれんそう
 08 ねぎ、きゅうり

II 花き情報

- 09 11月の経過(販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過)
 12月の見通し(ストック、トルコギキョウ、日本水仙)

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 10 10月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 11 『あともう一步』の踏み込み

V 首都圏掲示板

- 12 「花の魅力为消费者へ～消費拡大運動活発に～」
 「『しっとり・あまい千葉県産へにはるか』を3市場でPR」
 「『今が旬!みんな大好きちばの味フェア(秋冬の陣)』開催中」
 「『千葉県秋冬野菜出陣式』を大田市場で開催」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	11月上中旬の気象データでは、平均気温は東北地方及び本州日本海側では平年よりやや低い所が多かったが、それ以外の多くの地域では平年よりやや高かった。降水量は北海道・北東北・関東太平洋側・近畿・奄美では平年より少なかったが、それ以外の多くの地域では平年並か平年より多かった。日照時間は北海道・東北・近畿・奄美では平年より多かったが、それ以外の地域は平年並か平年より少なかった。
入荷量	東京都中央卸売市場への入荷は、北海道、東北産の終盤に関東産が重なり、本県産も日々増加した。 連続して上陸した台風18、19号の影響は限定的であったことに加え、その後の天候・温度にも恵まれたため、「だいこん」「にんじん」「ほうれんそう」「レタス」「なす」「トマト」「かぶ」等、多くの品目が前年よりも増加した。 結果、入荷量は11月上中旬で86,355t（前年比104.9%）と前年よりやや多くなった。
相 場	野菜類全体の充足感から、「だいこん」「にんじん」「はくさい」「キャベツ類」「レタス類」等の品目で前年の半値程度になるなど、品薄感の強かった前年よりも大幅な安値となった品目が多く、結果として、価格は11月上中旬計で190円/kg（前年比77.0%）と前年に比べ大幅な安値となった。

果実類

入荷量	「みかん類」「りんご類」「かき類」を中心に出回った。 「みかん類」は多かった前年を下回ったが、生育順調な「りんご類」「かき類」は前年を上回った。 結果として、入荷量は、11月上中旬計で、29,835t（前年比101.4%）と前年並だった。
相 場	果実類全体の荷余り感から、「みかん類」「かき類」は前年よりも大幅な安値となったが、「りんご類」は品質が評価され前年並だった。 結果として、11月上中旬計で263円/kg（前年比92.0%）と前年よりかなり安値となった。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成26年10月下旬～11月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	10月下旬				11月上旬				11月中旬				11月上中旬計			
		開市日数		本年9日・前年9日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年7日・前年8日		開市日数		本年14日・前年15日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	53,576	103.0	182	80.5	43,139	110.4	189	76.8	43,216	99.9	191	77.2	86,355	104.9	190	77.0
だいこん	市場計	5,451	103.0	58	51.6	4,494	118.0	51	56.8	4,658	102.8	50	53.1	9,152	109.7	50	54.7
	千葉	2,548	132.4	58	52.6	2,966	144.2	51	56.7	3,200	120.4	49	52.9	6,166	130.8	50	54.6
にんじん	市場計	3,542	103.5	80	63.4	2,818	124.0	78	56.1	2,601	127.8	89	54.0	5,419	125.8	83	55.1
	千葉	13	65.8	110	65.4	314	180.4	103	63.8	1,430	149.2	96	54.0	1,744	154.0	97	55.5
はくさい	市場計	5,897	101.5	38	52.8	3,946	101.8	33	42.2	4,199	82.9	34	40.1	8,145	91.1	33	40.9
	千葉	1	30.9	39	46.7	3	1438.0	54	29.1	2	169.6	70	53.4	5	332.2	61	44.2
キャベツ類	市場計	6,497	115.8	54	52.5	4,369	101.8	53	54.8	4,353	93.8	59	52.7	8,722	97.6	56	53.5
	千葉	2,288	148.3	57	52.1	1,979	105.5	53	53.5	1,783	91.3	58	51.7	3,761	98.3	55	52.4
ほうれんそう	市場計	618	128.9	480	78.7	571	148.3	413	64.5	578	138.9	382	58.9	1,150	143.4	397	61.6
	千葉	48	141.8	350	72.0	58	194.7	303	57.4	67	159.9	296	54.7	125	174.4	299	55.9
ねぎ	市場計	2,182	95.1	191	67.9	1,904	90.5	194	76.3	1,931	93.2	208	76.1	3,835	91.8	201	76.3
	千葉	31	118.2	250	91.4	61	153.2	216	83.0	122	150.1	250	85.7	183	151.1	238	84.8
レタス類	市場計	3,292	112.6	111	60.5	2,626	118.4	111	43.7	2,637	110.2	118	47.4	5,262	114.1	115	45.5
	千葉	37	319.3	172	59.5	50	411.8	151	56.3	54	187.8	153	55.6	104	254.9	152	55.6
きゅうり	市場計	1,931	116.4	336	70.0	1,649	126.3	344	60.2	1,425	88.1	414	94.6	3,074	105.1	377	75.7
	千葉	114	130.6	329	72.1	117	146.3	345	61.9	127	91.3	402	91.6	244	111.4	375	77.7
なす	市場計	926	138.5	313	64.8	756	125.2	310	65.4	613	100.9	348	78.6	1,370	113.0	327	71.3
	千葉	10	110.2	286	62.8	8	145.6	313	63.5	6	96.0	355	74.1	14	119.9	330	68.0
トマト	市場計	2,260	107.1	331	77.1	2,084	131.2	335	79.0	1,994	132.8	333	70.1	4,079	132.0	334	74.4
	千葉	566	126.9	294	72.3	508	173.6	288	73.5	426	143.9	258	63.2	934	158.7	275	68.6
ピーマン	市場計	677	97.1	288	86.9	588	123.1	334	61.3	661	109.7	291	61.6	1,249	115.6	311	61.7
	千葉	7	149.4	626	140.1	6	240.5	636	112.1	6	141.9	530	116.9	12	179.4	584	117.6
さといも	市場計	433	89.1	262	102.0	411	96.0	246	99.9	397	89.6	241	99.1	808	92.8	243	99.5
	千葉	70	102.4	220	103.4	65	102.7	220	95.7	48	77.9	215	94.8	113	90.4	218	95.4
ばれいしょ類	市場計	2,896	83.2	91	90.0	2,467	91.3	91	87.7	2,547	90.8	91	85.6	5,014	91.0	91	86.6
	千葉	0	5.0	109	162.5	5	1289.8	88	66.3	0	2.6	279	265.5	5	195.0	91	82.9
たまねぎ	市場計	4,360	99.5	80	73.8	3,557	108.8	81	71.8	3,704	106.4	81	68.3	7,260	107.5	81	69.9
生しいたけ	市場計	304	87.9	958	103.1	259	102.4	939	101.6	253	89.0	993	108.2	512	95.3	966	104.9
かぼちゃ	市場計	1,112	72.4	199	182.3	937	89.0	209	130.9	735	67.0	215	133.3	1,672	77.8	211	131.9
さやえんどう	市場計	11	92.3	1,242	116.0	16	125.3	1,085	100.4	23	106.1	1,113	109.6	39	113.2	1,101	106.0
かんしょ	市場計	1,068	87.9	217	128.6	949	115.0	232	122.8	1,087	100.9	212	102.5	2,036	107.0	221	111.2
	千葉	522	78.2	189	133.0	509	126.4	214	129.9	599	112.3	178	97.5	1,108	118.3	194	111.2
かぶ	市場計	753	117.8	105	83.1	599	109.9	108	76.3	654	119.1	104	69.6	1,253	114.5	106	72.8
	千葉	525	123.4	101	78.8	428	116.9	110	74.3	468	122.1	110	70.6	896	119.6	110	72.4
ごぼう	市場計	403	105.7	220	93.8	380	106.3	204	90.9	411	94.3	194	88.3	791	99.7	199	89.6
	千葉	1	22.9	561	193.1	0	53.0	571	131.0	1	86.2	554	112.5	1	68.6	561	121.2
こまつ菜	市場計	446	113.7	204	58.1	362	129.7	208	54.7	327	115.7	264	60.1	689	122.7	235	57.2
	千葉	41	122.9	200	61.2	30	132.0	199	53.6	20	80.8	243	61.4	51	105.3	217	56.4
こねぎ	市場計	132	99.1	744	85.6	107	106.7	753	83.6	114	109.6	821	83.2	220	108.2	788	83.4
わけぎ	市場計	7	80.8	643	112.5	7	102.2	556	91.9	6	74.4	596	93.5	13	86.7	575	92.3
糸みつば	市場計	61	105.4	310	83.2	51	108.6	315	79.7	46	91.1	350	74.8	97	99.5	331	76.6
しゅんぎく	市場計	108	156.1	488	55.9	98	148.0	434	55.9	109	112.4	501	68.3	207	126.9	469	62.5
	千葉	22	197.0	520	57.1	22	153.4	479	60.4	31	111.9	534	71.8	53	125.8	512	67.3
にら	市場計	287	97.7	591	104.2	249	106.4	581	88.5	260	98.6	596	86.1	509	102.3	589	87.2
セルリー	市場計	355	108.0	187	73.6	271	105.1	222	92.6	299	88.4	199	87.7	569	95.7	210	90.3

品目	産地	10月下旬				11月上旬				11月中旬				11月上中旬計			
		開市日数 本年9日・前年9日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年8日・前年8日		開市日数 本年14日・前年15日		開市日数 本年14日・前年15日		開市日数 本年14日・前年15日			
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	173	154.4	188	87.5	209	225.7	166	69.1	172	152.1	189	77.2	382	185.2	176	72.7
ブロッコリー	市場計	1,122	148.0	283	79.0	1,311	175.5	200	60.3	1,147	161.5	178	47.3	2,458	168.7	190	53.7
サラダ菜	市場計	34	87.3	313	81.6	26	91.3	336	73.5	28	85.5	321	54.8	54	88.2	329	62.5
	千葉	12	69.6	305	87.4	9	79.5	328	80.5	10	79.8	312	58.1	18	79.6	320	67.1
パセリ	市場計	37	116.0	601	69.1	29	104.9	554	77.3	26	83.9	612	89.0	55	93.8	581	82.9
	千葉	17	105.5	546	66.4	14	93.5	496	78.2	16	78.4	516	91.3	30	84.9	507	85.2
チンゲンサイ	市場計	168	94.6	214	70.7	133	101.1	202	62.4	116	78.9	237	72.8	249	89.5	218	67.2
エンダイブ	市場計	11	136.3	315	63.5	8	127.5	334	52.1	7	95.2	355	56.6	15	109.9	344	54.3
ミニトマト	市場計	679	95.5	597	91.3	595	126.9	608	89.8	594	109.8	544	81.2	1,189	117.7	576	85.6
	千葉	81	65.0	600	122.9	68	110.9	571	90.7	77	155.4	512	73.0	145	130.8	540	81.6
とうもろこし	市場計	10	169.5	209	90.1	5	249.2	268	78.6	3	211.2	267	81.7	7	233.8	268	79.8
いんげん	市場計	122	124.5	747	78.3	88	98.1	881	84.9	73	76.6	1,097	121.3	160	87.0	979	101.0
えだまめ	市場計	33	114.7	806	90.7	10	112.2	974	96.7	11	92.0	959	91.2	21	100.7	966	93.6
やまといも	市場計	65	93.6	627	125.8	59	116.3	643	125.2	68	91.7	589	108.2	128	101.7	614	115.5
	千葉	43	104.5	576	116.7	40	133.6	609	122.9	44	94.9	565	106.8	84	110.0	586	113.5
根しょうが	市場計	133	79.5	595	147.2	117	91.3	572	142.6	106	81.0	611	149.9	223	86.1	591	146.1
マッシュルーム	市場計	44	102.8	1,046	116.5	38	110.1	984	102.1	39	100.0	1,018	106.5	77	104.7	1,001	104.3
外国産	—	859	76.8	463	112.9	818	82.3	399	108.2	917	79.9	368	113.1	1,735	81.0	383	110.7
果実総量	—	17,792	105.1	245	94.5	13,987	107.2	259	91.8	15,848	96.8	267	92.3	29,835	101.4	263	92.0
みかん類	市場計	6,105	94.1	150	80.7	5,180	106.0	193	82.6	7,154	87.4	209	83.3	12,334	94.4	202	82.7
(極早生みかん)	市場計	5,773	90.8	145	79.0	2,006	80.0	129	68.3	551	66.2	111	59.5	2,557	76.6	125	66.5
(早生みかん)	市場計	311	283.6	240	78.9	3,152	133.8	233	83.1	6,587	90.3	217	84.0	9,739	100.9	222	84.3
かんきつ類	市場計	405	91.0	207	123.9	286	88.8	234	119.0	343	96.1	274	108.9	629	92.6	256	113.4
りんご類	市場計	2,558	96.5	248	99.5	2,232	111.6	271	100.2	2,983	110.2	276	98.1	5,215	110.8	274	99.0
(ふじ)	市場計	208	179.5	250	96.7	1,001	134.7	295	95.6	2,195	113.1	282	97.0	3,195	119.1	286	96.7
いちご類	市場計	39	158.0	2,119	88.2	101	131.0	1,970	105.7	219	118.0	1,715	101.1	320	121.8	1,796	102.9
(とちおとめ)	市場計	20	181.5	2,341	77.6	81	140.2	1,960	102.1	180	128.7	1,669	101.2	261	132.1	1,759	101.8
メロン類	市場計	274	93.3	522	99.8	214	99.2	540	99.2	177	66.4	675	125.6	390	81.0	601	111.3
	千葉	6	81.3	591	112.5	5	91.8	515	99.1	5	102.7	574	111.7	10	97.1	546	105.6
(アールスメロン)	市場計	162	81.2	658	107.3	162	94.3	586	100.9	141	69.2	733	127.0	303	80.7	654	113.1
	千葉	6	81.3	591	112.5	4	88.7	525	101.1	5	103.5	574	112.0	9	95.9	551	106.8
なし(新高)	市場計	502	142.1	215	80.5	99	113.2	211	81.7	32	140.6	215	76.4	130	118.8	212	80.6
	千葉	7	10941.7	172	99.2	0	—	213	—	0	—	170	—	0	—	203	—
ぶどう類	市場計	679	117.0	673	91.5	287	103.7	732	97.4	192	94.0	741	99.2	479	99.6	735	98.2
くり	市場計	117	127.8	608	87.6	49	104.6	710	89.0	29	104.6	675	76.0	78	104.6	697	83.8
かき類	市場計	3,083	129.6	224	82.1	2,291	106.6	206	75.1	1,865	113.8	209	75.7	4,157	109.7	207	75.3
外国産	—	1,847	95.6	196	109.5	1,371	91.4	200	109.2	1,414	92.7	193	105.5	2,785	92.1	196	107.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 12月の見通し

野菜類

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となります。

今年の入荷量は、台風等の影響の残る「キャベツ類」や「ねぎ」「レタス類」を除き、豊作傾向となり、多くの品目で前年並かそれ以上となります。

価格については、10月から長く続いている充足感から、前年とは一転、安値基調となり、特に「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」「レタス類」「トマト」は前年を大幅に下回る予想です。

果実類

「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に回ります。

いずれも生育は概ね順調で、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

価格は、「みかん類」「りんご類」は高かった前年を下回る見込み。「いちご類」は需要期で業務需要の引き合いが堅調となることから前年並の見込み。全体では前年を下回る見込みです。

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	15,000	13,801	108.7	13,152	60	85	70.6	66	6,540	47.4
にんじん	9,900	8,551	115.8	8,803	95	156	60.9	116	6,841	80.0
かぶ	2,000	1,749	114.4	2,033	110	143	76.9	113	1,391	79.5
キャベツ類	12,800	12,200	104.9	13,165	85	140	60.7	86	3,850	31.6
ほうれんそう	1,680	1,479	113.6	1,662	500	559	89.4	457	222	15.0
ねぎ	6,400	6,341	100.9	6,341	240	254	94.5	242	1,341	21.1
レタス類	7,040	6,997	100.6	7,416	230	323	71.2	254	358	5.1
きゅうり	4,550	4,703	96.7	4,639	400	391	102.3	435	836	17.8
トマト	4,700	4,540	103.5	4,780	358	481	74.4	416	325	7.2
かんしょ	3,790	3,792	99.9	3,457	190	176	108.0	177	2,012	53.1
さといも	1,950	1,852	105.3	1,938	250	271	92.3	243	303	16.4
普通みかん	17,300	16,850	102.7	18,464	210	255	82.4	176	0	0.0
りんご(ふじ)	5,480	5,133	106.8	5,364	270	286	94.4	260	0	0.0
いちご類	2,550	2,468	103.3	2,661	1,760	1,767	99.6	1,641	30	1.2

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

入荷予測	4,700t(前年比103.5%、平年比98.3%)
価格予測	358円(前年比74.4%、平年比86.1%)
市況予測※	上旬; ⇨(保 合) 中旬; ⇨(保 合) 下旬; ⇨(強保合)

冬春トマト

主要産地のねぎ入荷量(東京都中央卸売市場)

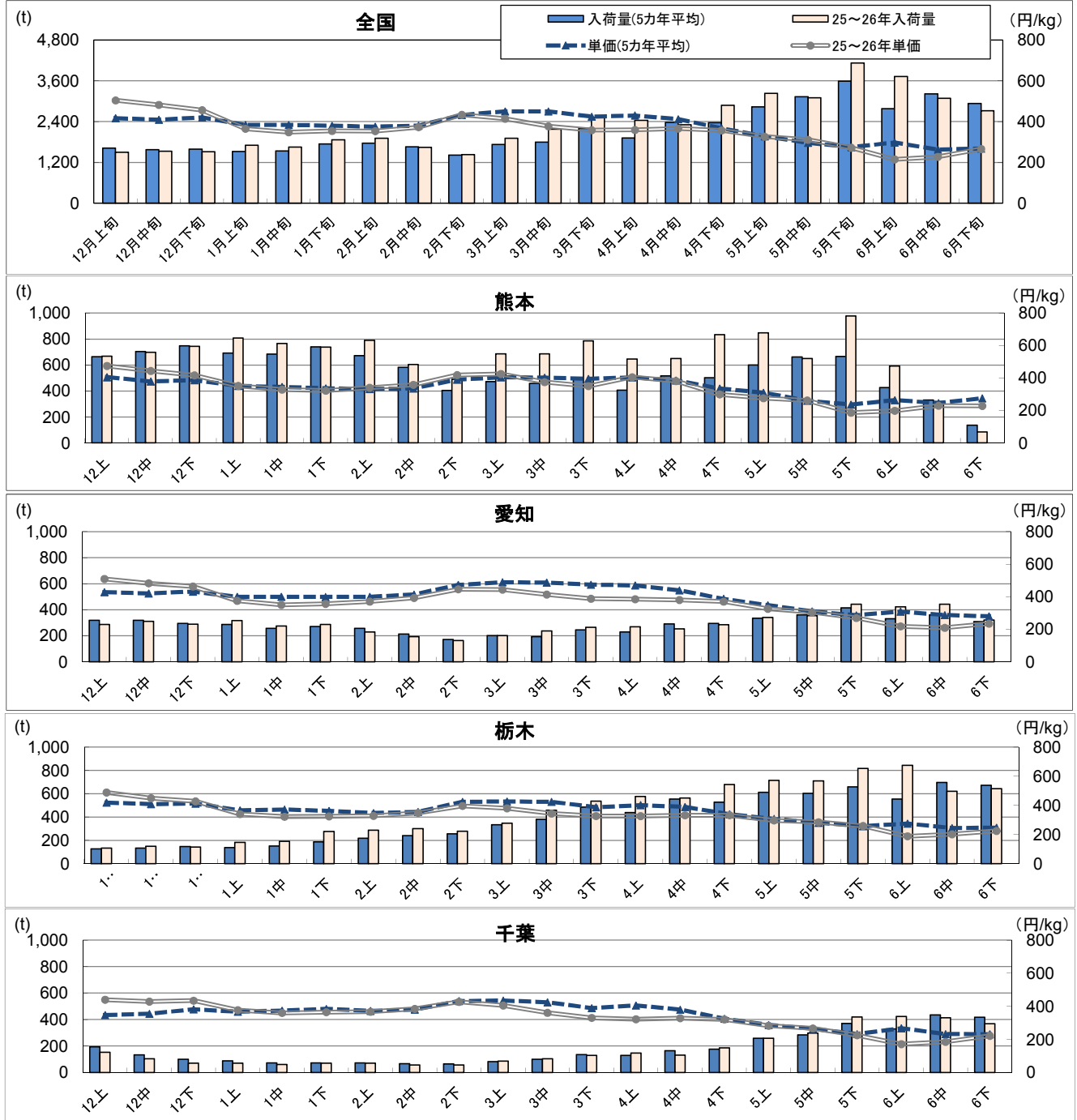
産地	25年12月 入荷量(※)	25年12月 シェア率
熊本	2,111 t	42.4 %
愛知	887 t	17.8 %
栃木	426 t	8.5 %
千葉	325 t	6.5 %

冬春トマトの12月の状況

12月から6月に入荷するトマトは「冬春トマト」に区分され、その中心産地は熊本県、愛知県、栃木県、千葉県で、前半は西南暖地産が主力で、徐々に関東産へ切替わります。

12月の入荷量は、熊本県産の作付が増加しており生育順調なため、前年を上回る見込み。愛知県産は天候不良で玉伸びが悪い産地があり、前年をやや下回る見込み。全体として前年をやや上回る見込みです。

12月の価格は、若干上げるものの、安値基調の影響を受け、前年を大幅に下回る見込みです。

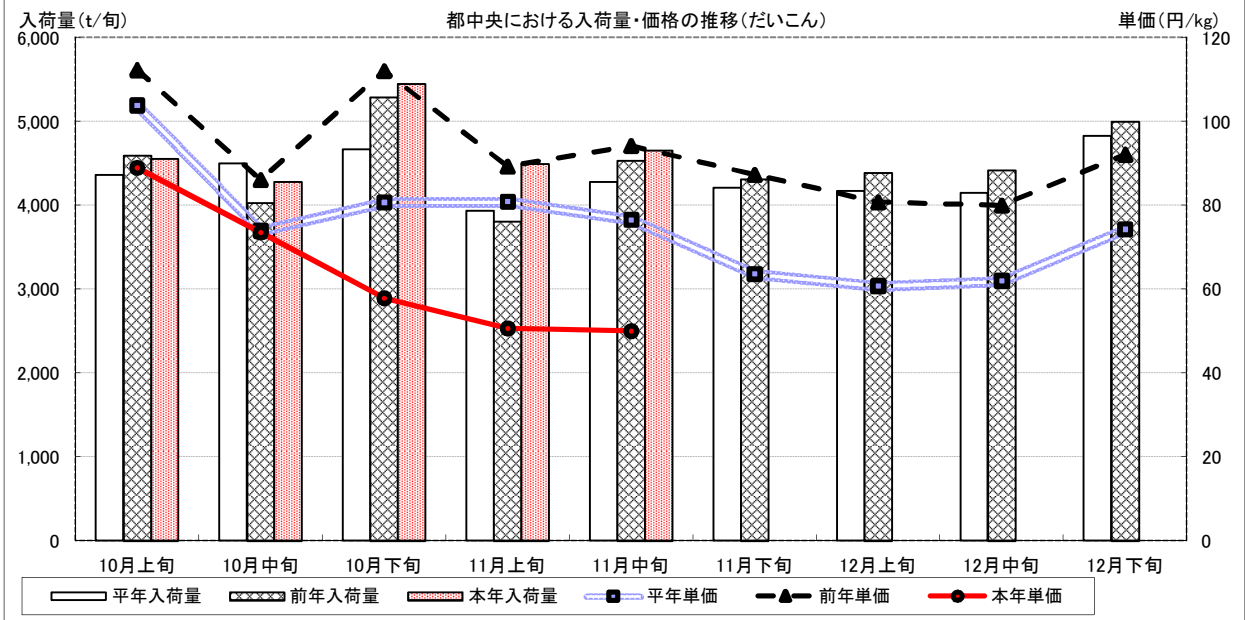


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値

※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

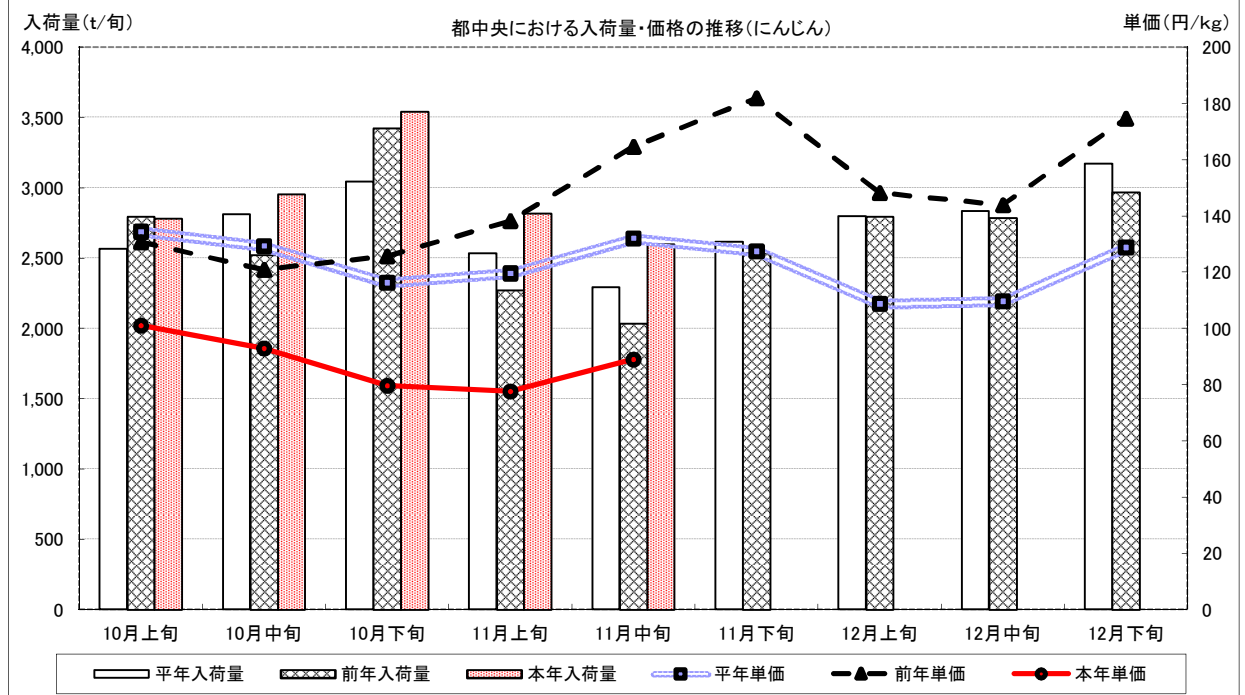
だいこん

入荷予測	15,000t(前年比108.7%、平年比114.1%)
価格予測	60円(前年比70.6%、平年比90.9%)
市況予測※	上旬：⇔(保合) 中旬：⇔(保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県：台風の影響を受けた一部のほ場で生育の遅れが見られるが、生育は概ね良好。出荷量は少なかつた前年を上回り、平年並の見込み。 神奈川県：台風による大きな影響はない。降雨が少なく小ぶりとなるものの、出荷量は前年並の見込み。



にんじん

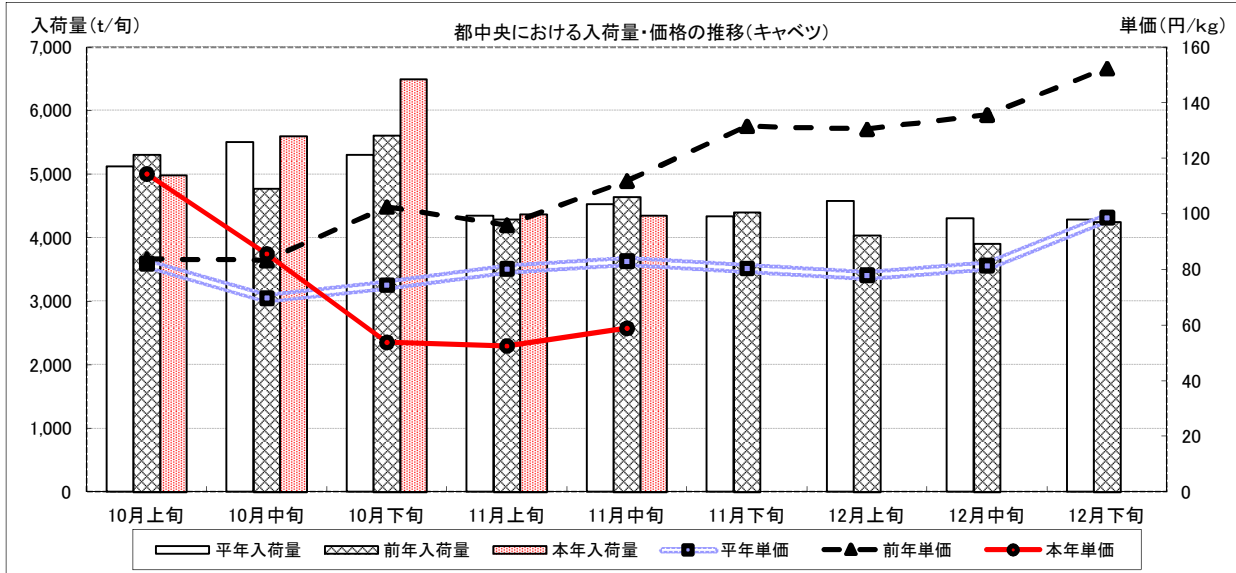
入荷予測	9,900t(前年比115.8%、平年比112.5%)
価格予測	95円(前年比60.9%、平年比81.9%)
市況予測※	上旬：⇔(保合) 中旬：⇨(強保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	千葉県：概ね生育良好。生育の遅れがあつたが回復してきており、出荷量は少なかつた前年及び平年を上回る見込み。 埼玉県：肥大期の天候が良好で、生育は順調。出荷量は前年並の見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値
 ※：市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

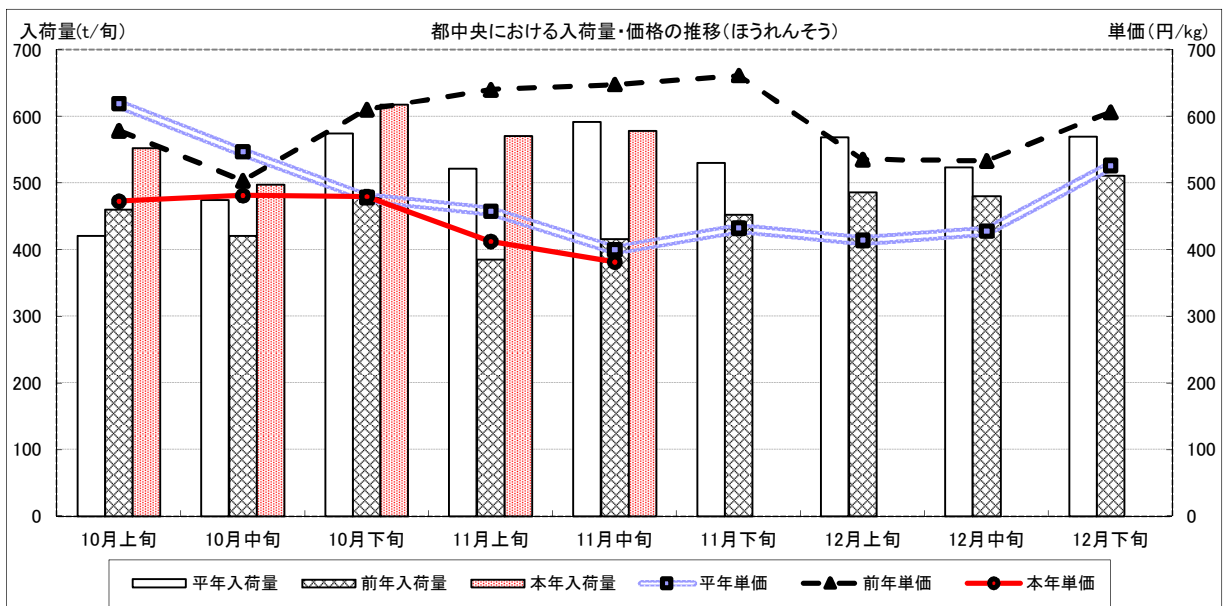
キャベツ類

入荷予測	12,800t(前年比104.9%、平年比97.2%)
価格予測	85円(前年比60.7%、平年比98.8%)
市況予測※	上旬：⇔(保 合) 中旬：⇨(強保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	愛知県：生育が前進しており、大玉傾向となっている。出荷量は前年をやや上回る見込み。
	千葉県：台風の影響で一部に塩害が発生したが、12月出荷分では回復してきている。出荷量は前年並の見込み。
	神奈川県：台風の影響もなく順調。出荷が前進傾向となっており、切り上がりが早まることが予想される。出荷量は少なかった前年を大幅に上回る見込み。



ほうれんそう

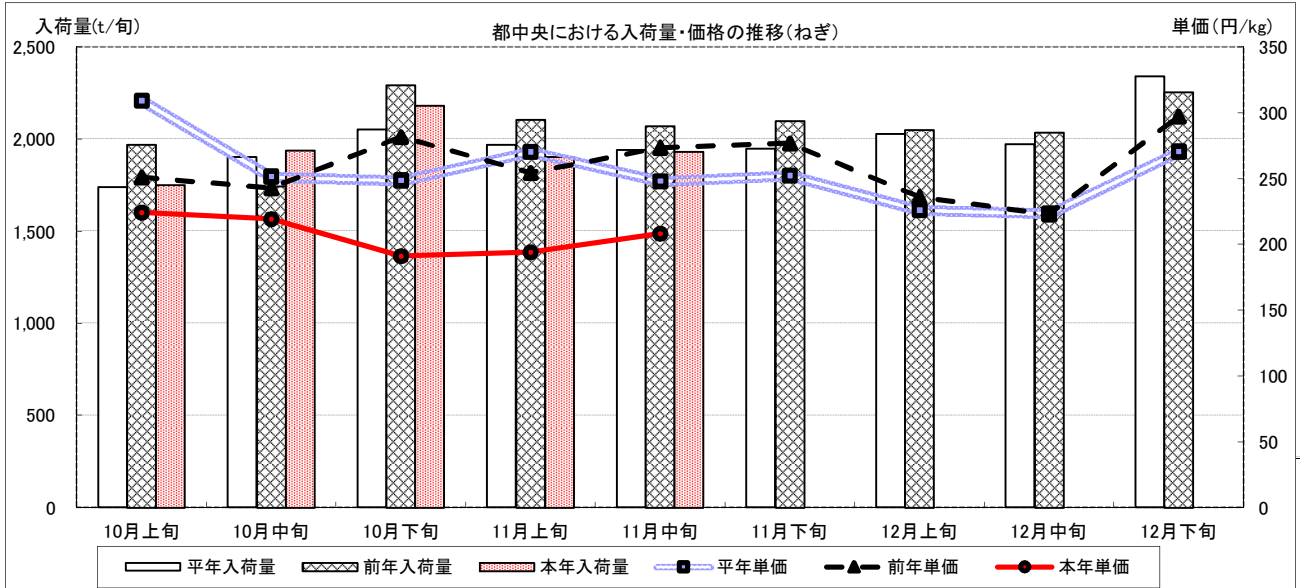
入荷予測	1,680t(前年比113.6%、平年比101.1%)
価格予測	500円(前年比89.4%、平年比109.4%)
市況予測※	上旬：⇔(保 合) 中旬：⇨(強保合) 下旬：⇨(強保合)
主産地の概況	群馬県：日中の気温が高く、生育は前進傾向。露地の作付を増やしており、出荷量は前年を大幅に上回る見込み。
	千葉県：台風の影響は少なく、生育は良好。出荷量は少なかった前年を上回る見込み。
	埼玉県：降水量が多く若干軟弱傾向だが、生育は概ね順調。出荷量は前年並の見込み。
	茨城県：生育は前進傾向。面積増加により、出荷量は前年をかなり上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値
 ※：市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

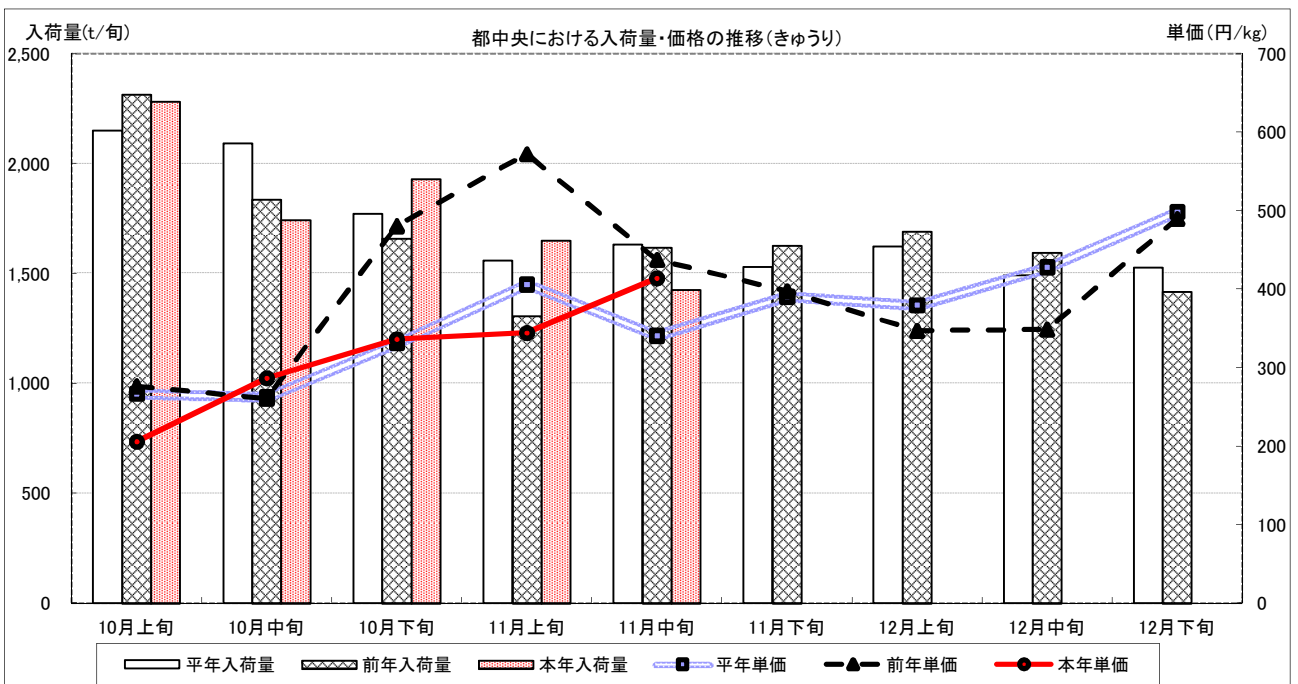
ねぎ

入荷予測	6,400t(前年比100.9%、平年比100.9%)
価格予測	240円(前年比94.5%、平年比99.2%)
市況予測※	上旬：↗(強保合) 中旬：↔(保合) 下旬：↘(強保合)
主産地の概況	千葉県; 12月出荷分については台風の影響はほとんどなく、生育は順調。出荷量は少なかった前年を上回る見込み。
	埼玉県; 台風の影響もなく、生育は順調。出荷量は前年並の見込み。
	茨城県; 気温・降水に恵まれ生育は順調。出荷量は多かった前年をやや下回る見込み。



きゅうり

入荷予測	4,550t(前年比96.7%、平年比98.1%)
価格予測	400円(前年比102.3%、平年比92.0%)
市況予測※	上旬：↔(保合) 中旬：↗(強保合) 下旬：↘(強保合)
主産地の概況	宮崎県; 生育は順調。出荷量は前年及び平年並の見込み。
	千葉県; 生育は順調。前年並の見込み。
	埼玉県; 生育は概ね順調だが、2月雪害でのハウス倒壊の影響で栽培面積が減少しており、出荷量は前年をかなり下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値
 ※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

II 花き情報

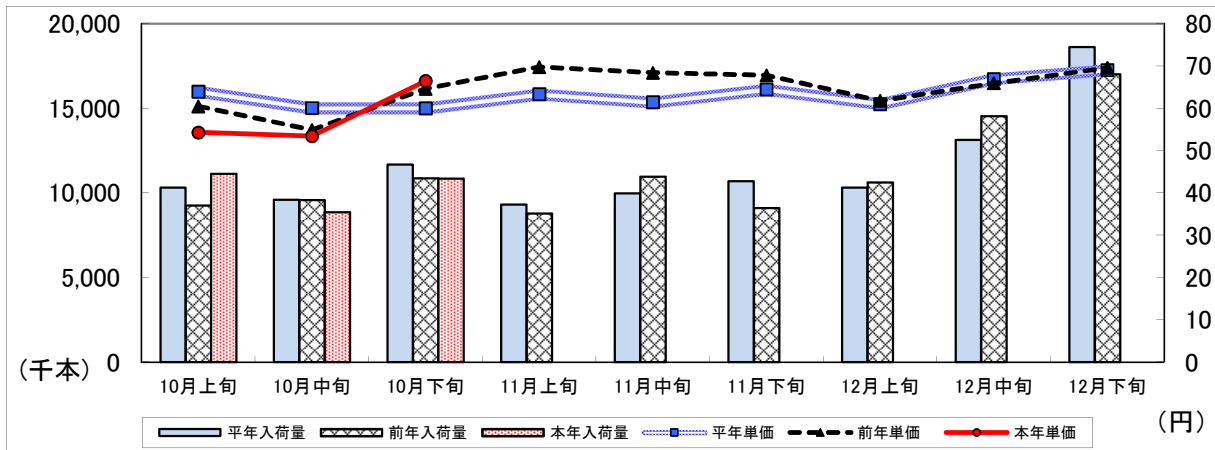
1 11月の経過（切花）

入荷量は平年より少ないものの、大きな需要が無く、相場は平年を下回った。

(1) 販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	入荷量は平年を下回った。
相場	週末・連休の婚礼向け以外に大きな需要が無く、相場は低迷した。
品目等	婚礼需要からバラ、トルコギキョウ等の洋花の一部では引き合いが強まった。一方ストックは、主産地の山形で開花が前進化して潤沢な入荷となったため、価格は低迷した。

(2) 入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
 平年値は過去3カ年の平均

(3) 品目別経過

品目	経過	
ストック	大田花き	主力産地の山形で開花が前進化して潤沢な入荷となったため、相場は昨年と比べて30円/本近く下がるなど厳しい販売となった。
	フラワーポート	前進開花で入荷量が多く、厳しい販売となった。
キンギョソウ	大田花き	ストックの入荷量増加の影響もあり、品薄感のある黄色以外は厳しい相場となった。
トルコギキョウ	大田花き	上旬の入荷量は少なかったが、中旬からは安定した入荷となった。連休のブライダル需要を中心に引き合いが見られた。

2 12月の見通し

品目	見通し	
ストック	大田花き	山形産は2週目から減少し、その後は入荷量の少ない状態となる。
	F A J	東北産が11月に前倒し出荷となった影響で、今月の入荷量は減少する。
トルコギキョウ	大田花き	各産地より安定した入荷が見込まれ、月の前半は厳しい販売状況となる。
	フラワーポート	生育の遅れで11月出荷分が12月にずれ込んでおり、入荷量は増加する。
日本水仙	大田花き	露地ものが始まる。作柄も良く、中～下旬に向けて安定した入荷となる。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H26. 10月				累計 (H26. 4～10月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	29,095	144	106	83	177,553	177
だいこん	4,043	68	111	68	21,381	82
にんじん	1,757	95	114	70	12,029	116
はくさい	3,022	60	110	85	11,113	72
キャベツ	5,208	74	98	88	33,047	81
ねぎ	940	216	108	80	6,362	254
トマト	1,356	329	107	74	10,672	298
きゅうり	1,084	261	102	87	8,789	265
ばれいしょ	1,439	90	104	84	1,059	116
たまねぎ	2,177	82	114	75	12,989	116
レタス	1,554	88	114	46	9,584	167
果実	7,619	215	103	89	43,439	291
みかん	2,471	134	107	81	3,649	207
かき類	1,627	208	114	90	2,050	231
グレープフルーツ	173	123	93	106	1,669	156
なし類	583	209	128	59	5,628	276
ぶどう類	409	629	100	91	1,900	639
いちご類	6	1,578	97	117	1,075	840
すいか類	10	133	20	42	7,172	158
メロン類	73	409	68	107	3,301	357
バナナ	550	150	91	109	3,711	165
りんご	1,225	228	98	99	3,828	296
その他	318	133	112	97	1,841	165
青果物合計	37,032	159	105	85	222,833	199

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H26. 10月				累計 (H26. 4～10月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	2,399	48	100	92	20,786	51
きく	872	46	108	76	7,295	54
バラ	125	63	102	123	790	59
カーネーション	283	38	97	100	2,571	43
枝物	79	76	119	96	416	92
鉢物	182	98	141	95	867	117
その他	3	120	75	111	26	155
花き合計	2,663	53	102	96	22,095	54

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

— 「あともう一步」の踏み込み —

カレンダーを見てみればもう12月。春のたけのこの競売を見ていたのがつい昨日のこのようですが、市場には金時ニンジンやユリ根、冬至ユズなど、年末・お正月商材が本格的に入り始めています。時間が過ぎるのは本当にあっという間です。

思いかえしてみれば、そのあっという間の8ヶ月間で、販促イベントの企画や、農業事務所の普及員が行う市場調査における卸売会社・仲卸等との調整、視察案内など、実にさまざまなことを行ってきました。

特に、今年は産地からの調査依頼が昨年よりも格段に増え、市場ならではの情報を得るために首都圏マーケティングセンターを活用してもらっているのかなと感じています。

私自身もその調査によく同席していますが、その中で強く思ったことがあります。それは、聞きたいことが多すぎて全て聞ききれなかったり、逆にたくさん質問できたけれど、調査結果をどう活かすかまとめきれないなど、「あともう一步」踏み込んだら、というもったいない調査が結構あるということです。

市場での調査に限らず、調査には大前提として、次の二つがあります。

1. 調査を受けてくれる人の時間は無限ではありません。短い時間をいかに効果的に使うかを考えなくてはなりません。ちなみに、市場での卸売会社・仲卸さんへの調査は概ね30分~1時間が一般的です。
2. 調査を行うのは、産地の課題解決のヒントを得るためです。全ての質問は、この「課題解決」に繋がっていかなくてはなりません。

つまり、調査では「短時間」で「産地の課題解決のために最低限聞きたいことを抑える」という二点をしっかり抑えておく必要があります。

最近では、産地の方にもう一步踏み込んだ効果的な調査を行ってもらうために、調査の目的やあらかじめ質問したい事項など取りまとめた調査設計書を各産地から先に提出してもらう取組を始めました。

この設計書を作ることで、「自分が何を質問し、調査結果を何に活かしたいのか」を産地の方により強く意識してもらうとともに、調査先の方にもあらかじめ「何が聞きたいのか」を明確に提示できています。その結果、調査がスムーズに進むとともに、調査先の方が独自で調査をしてくれるなど、「あともう一步」の手助けとなるような効果が出始めています。

せっかくはるばる東京まで来て行う調査、「あともう一步」踏み込んでみてはいかがでしょうか。その「あともう一步」の踏み込みが、産地の課題解決をより効果的にしてくれること請け合いです。

(へたれボルダラー)

V 首都圏掲示板



花の魅力为消费者へ～消費拡大運動活発に～

いい夫婦の日(11月22日)、クリスマス、年末年始と、花の大きな需要期を控え、都内各所で活発に消費拡大運動が行われました。

11月9日(日)に東京都中央卸売市場葛西市場で開催された「2014江戸はなまつり」では、「お花屋さん体験」が開催されました。

これは参加者が花屋になり、「大切な人に贈りたい花」というテーマを基に本職の花屋さんの助けを借りながら花束を作成。その後、参加者はできあがった花束を持って舞台上上がりお披露目をした後、セリにかけて販売するというものです。

「大好きなお母さんへ」「いつも仕事をがんばっている旦那様へ」など、それぞれに込めた思いと花束が紹介されるたび、会場からは大きな拍手が起こっていました。



11月22日(土)・23日(日)には東京都世田谷区の二子玉川ライズで、高知県と関係団体による「高知の花展示会」が開催されました。

会場には特産のユリをふんだんに使い飾り付けられた「リリーウォール」が登場。多くの来場者が美しく咲いた花を背景に、家族で、カップルで記念写真を撮っていました。

また、当日は高知県のキャラクター「龍馬くん」やユリのキャンペーンガールである「リリーエンジェル」も登場し、イベントを盛り上げていました。





「しっとり・あまい千葉県産べにはるか」を3市場でPR

県内さつまいも主要産地が連携して「収穫後30日以上貯蔵」による高品質出荷に取り組んでいる「べにはるか」のおいしさを流通関係者にアピールするため、県・全農千葉県本部・(公社)千葉県園芸協会は11月11日から20日にかけて首都圏の3市場で試食宣伝会を実施。生産者やJAも参加して「べにはるか」の焼き芋配布や、出荷物の展示で品質をアピールしました。

焼き芋を食べた売買参加者からは、「甘い！」という感想が多く聞かれ、展示品を前にJAと話し合う姿も見られ、出荷本格化に向けて手ごたえが感じられました。



11/18 横浜市中央卸売市場



11/20 東京都中央卸売市場淀橋市場



11/11 東京都中央卸売市場大田市場
(千葉県秋冬野菜出陣式にて)



「今が旬！みんな大好きちばの味フェア（秋冬の陣）」開催中

11月の県産農林水産物販売促進月間に合わせて、旬を迎える千葉県産野菜の魅力を多くの消費者に紹介するため、県・全農千葉県本部・(公社)千葉県園芸協会・千葉会(県産青果物を応援する卸売市場の会)は、10月25日から12月6日まで、京浜地区の量販店25店舗で「千葉県フェア」を実施しています。

京王ストア桜ヶ丘店で実施したフェアでは「房州ひじきと大根・人参のなます」を試食で提供。千葉の海の幸・山の幸のおいしさをお客さんにPRし、大変好評でした。



11/15 京王ストア桜ヶ丘店
(左下)房州ひじきと大根・人参のなます



「千葉県秋冬野菜出陣式」を大田市場で開催

県産秋冬野菜の品質の高さ、品目の多彩さをアピールするため、11月11日に東京都中央卸売市場大田市場で「千葉県秋冬野菜出陣式」を開催しました。

寒い朝に会場を訪れる売買参加者や仲卸業者に県産野菜で温まってもらおうと、大根、ニンジン、ネギ、サトイモを使用した「旬菜スープ」と「べにはるかの焼き芋」を提供したところ、多くの方が来場し、県産野菜を味わっていただくことができました。

全農千葉県本部運営委員会会長、県農林水産部長による挨拶の中では、県内産地が一体となった「オール千葉」体制の整備を進めていることを流通関係者へ発信し、（公社）千葉県園芸協会理事長による「ときの声」では、産地関係者が県産野菜を手に取り「エイ、エイ、オー！」と声を上げ、千葉県として一体となって秋冬野菜の出荷に取り組んでいくことをアピールしました。



東京青果(株)卸売場特設会場
会場は多くの流通関係者で賑わいました



県産野菜を手を持ち「エイ、エイ、オー！」



様々な野菜・果物を展示し、品目の多彩さアピール
ちばエコ農産物も展示しました(右上)



荏原青果(株)卸売場でも、ミニトマトと
さつまいもの試食を提供していただきました